

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（詳細は2021年11月号参照）。

### でん粉の需給見通し

#### 【令和2でん粉年度（見込み）】

需要量：240万1000トン（前年度比2.5%減）

供給量：244万トン（同2.1%減）

#### 【令和3でん粉年度（見通し）】

需要量：255万5000トン（同6.4%増）

供給量：258万5000トン（同5.9%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和元でん粉年度 （実績）	令和2でん粉年度 （見込み）		令和3でん粉年度 （見通し）				
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,666	750	875	1,625	815	920	1,736	
	化工でん粉	301	121	152	274	145	156	301	
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	495	223	279	503	255	263	518	
	合計	2,462			2,401			2,555	
供給	前年度繰り越し	14			32			39	
	国産いもでん粉（生産量）	208	186	—	186	182	—	182	
		かんしょでん粉	28	21	—	21	23	—	23
		ばれいしょでん粉	180	164	—	164	159	—	159
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,108	936	1,129	2,065	1,037	1,159	2,196
		輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	138	60	69	129	69	69	138
	輸入でん粉（その他用）	9	5	8	13	8	8	15	
	小麦でん粉	16	8	7	15	8	7	15	
	合計	2,493			2,440			2,585	
	次年度繰り越し	32			39			30	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和3年10月～令和4年3月 (見込み)			令和4年4月～9月 (見通し)			令和3でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	5	15	20	5	14	19	9	29	39
		化工でん粉	1	20	21	0	15	15	1	35	36
		その他	4	19	23	5	21	26	9	40	49
		小計	10	54	64	10	50	60	20	104	124
	その他の用途		0	30	30	0	36	36	0	67	67
	計		10	84	94	10	87	96	20	170	190
供給	前期からの繰り越し		6	33	39	18	108	127	6	33	39
	生産量		23	159	182	0	0	0	23	159	182
	計		29	192	221	18	108	127	29	192	221
次期への繰り越し			18	108	127	9	22	30	9	22	30

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用飼料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

## 2. 輸入動向

### 【タピオカでん粉の輸入動向】

#### 1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

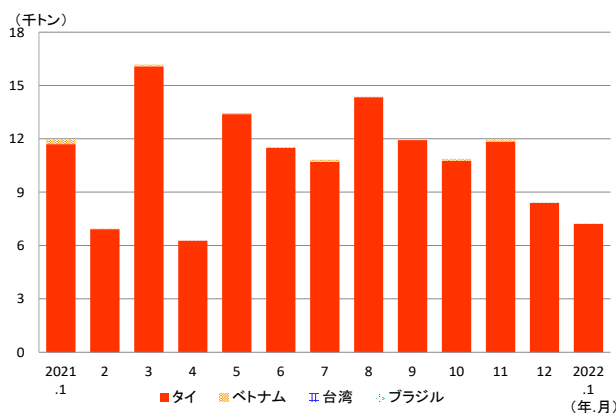
財務省「貿易統計」によると、2022年1月のタピオカでん粉の輸入量は、7228トン（前年同月比39.6%減、前月比14.1%減）と、前年同月から大幅に減少した（図1）。

輸入先国はタイおよびベトナムの2カ国で、輸入量は次の通りであった。

タイ 7213トン  
（前年同月比38.3%減、前月比14.1%減）

ベトナム 14トン  
（同94.2%減、同57.3%増）

図1 タピオカでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

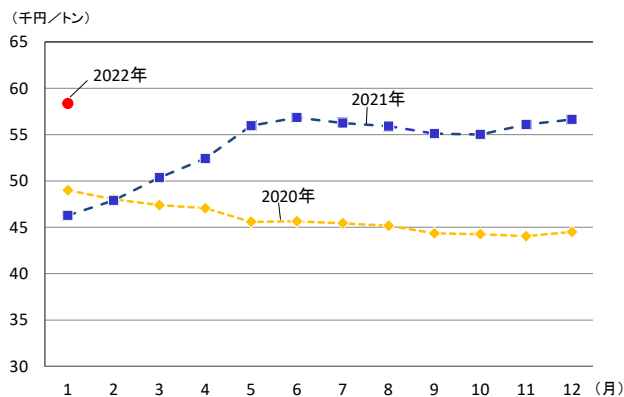
2022年1月の1トン当たりの輸入価格は、5万8351円（前年同月比26.1%高、前月比3.0%高）と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 5万8212円  
（前年同月比27.1%高、前月比3.6%高）

ベトナム 12万9168円  
（同2.3倍、同33.1%安）

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

### 【サゴでん粉の輸入動向】

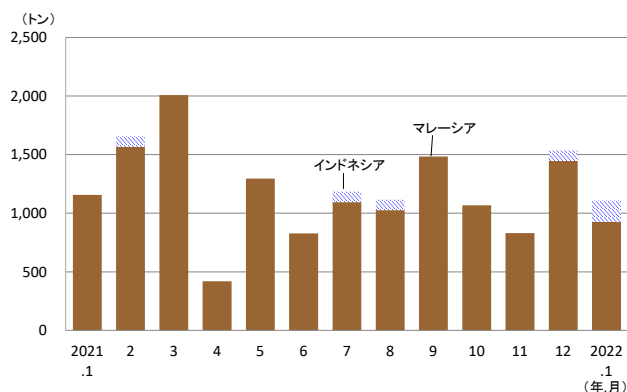
#### 1月の輸入量は前年同月からやや減少

財務省「貿易統計」によると、2022年1月のサゴでん粉の輸入量は、1108トン（前年同月比4.2%減、前月比27.9%減）と、前年同月からやや減少した（図3）。

輸入先国はマレーシアおよびインドネシアの2カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア	928トン
	（前年同月比19.8%減、前月比35.8%減）
インドネシア	180トン
	（前年同月輸入実績なし、同2.0倍）

図3 サゴでん粉の国別輸入量の推移



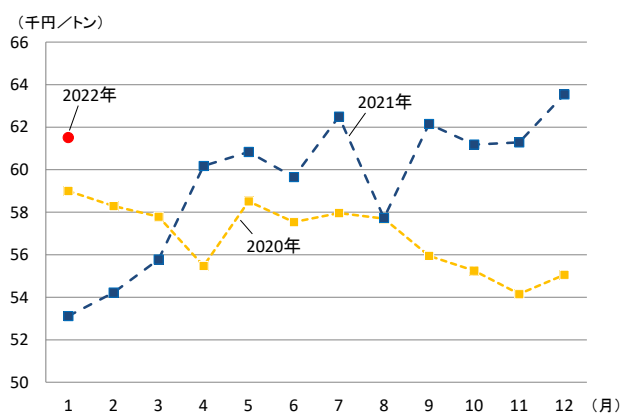
資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

2022年1月の1トン当たりの輸入価格は、6万1507円（前年同月比15.8%高、前月比3.2%安）と、前年同月をかなり大きく上回った（図4）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア	6万1500円
	（前年同月比15.8%高、前月比3.4%安）
インドネシア	6万1544円
	（前年同月輸入実績なし、同0.5%高）

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

### 【ばれいしょでん粉の輸入動向】

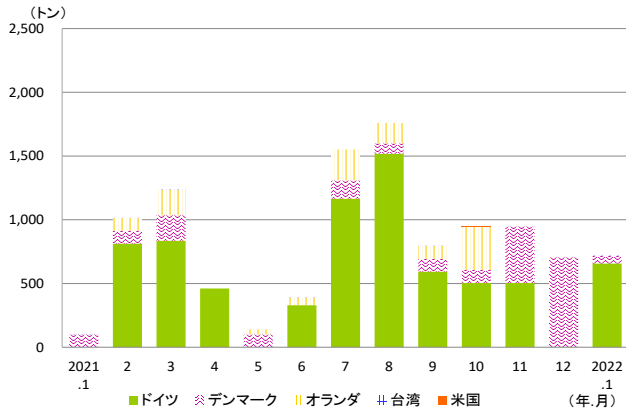
#### 1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年1月のばれいしょでん粉の輸入量は721トン（前年同月比7.0倍、前月比2.2%増）と、前年同月から大幅に増加した（図5）。

輸入先国はドイツ、デンマークおよび台湾の3カ国で、輸入量は次の通りであった。

ドイツ	658トン
	（前年同月輸入実績なし、前月比456.9倍）
デンマーク	60トン
	（前年同月比40.0%減、同91.5%減）
台湾	3トン
	（同16.7%減、前月輸入実績なし）

図5 ばれいしょでん粉の国別輸入量の推移



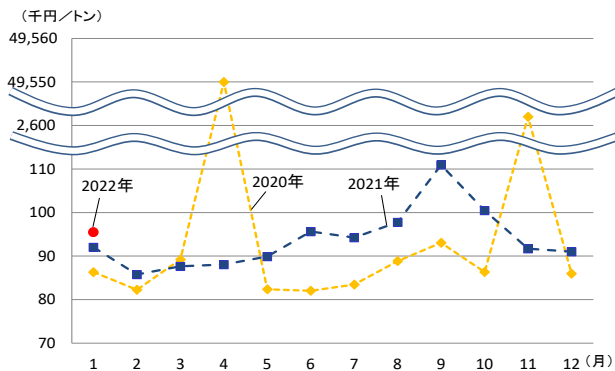
資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2022年1月の1トン当たりの輸入価格は、9万5494円（前年同月比3.8%高、前月比4.9%高）と、前年同月をやや上回った（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- ドイツ 9万4831円  
（前年同月輸入実績なし、前月比79.6%安）
- デンマーク 9万2150円  
（前年同月比6.8%高、同2.1%高）
- 台湾 30万7667円  
（同22.7%高、前月輸入実績なし）

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年1月のでん粉誘導体の輸入量は、3万7720トン（前年同月比33.8%増、前月比31.0%増）と、前年同月から大幅に増加した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先国は18カ国で、最大の輸入先国はタイであった。主要輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、デンマークとなっている（表3）。

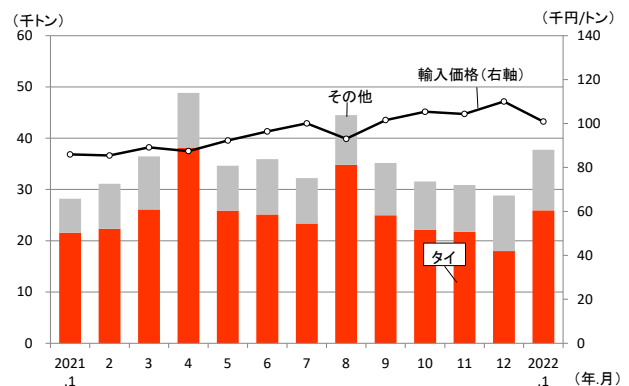
表3 でん粉誘導体の主要輸入先国および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	37,720	100.0%
うち タイ	25,900	68.7%
ベトナム	2,895	7.7%
デンマーク	1,687	4.5%
スウェーデン	1,623	4.3%
豪州	1,084	2.9%
ドイツ	989	2.6%

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-100

2022年1月の1トン当たりの輸入価格は、10万904円（前年同月比17.4%高、前月比8.3%安）と、前年同月を大幅に上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-100

## 【デキストリンの輸入動向】

### 1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年1月のデキストリンの輸入量は、1001トン（前年同月比22.3%減、前月比21.0%減）と、前年同月から大幅に減少した（図8）。

デキストリンの輸入先国は10カ国で、輸入量は上位輸入先国の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先国からの輸入量は次の通りで、ベトナムおよびタイで輸入量の約7割を占めている（表4）。

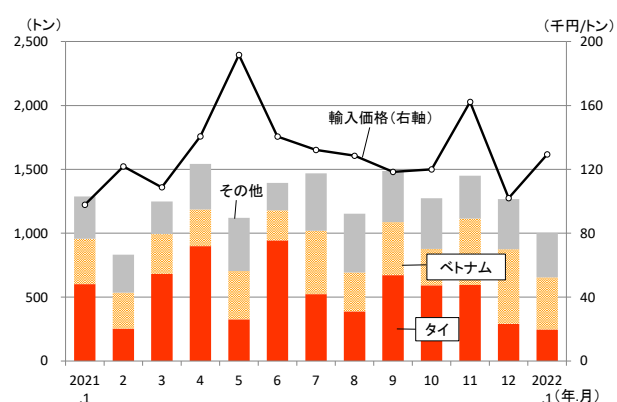
表4 デキストリンの主要輸入先国および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	1,001	100.0%
うち ベトナム	409	40.9%
タイ	246	24.6%
米国	96	9.5%
中国	59	5.9%
ベルギー	57	5.7%
ドイツ	50	5.0%

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

2022年1月の1トン当たりの輸入価格は、12万9321円（前年同月比32.2%高、前月比26.8%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

## 【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】

### 1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年1月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、17万7056トン（前年同月比29.9%増、前月比29.7%減）となり、前年同月から大幅に増加した（図9）。

輸入先国は、米国、南アフリカおよびブラジルの3カ国で国別の輸入量は次の通りであった。

米国 14万2102トン

（前年同月比28.8%増、前月比36.0%減）

南アフリカ 2万4448トン

（前年同月輸入実績なし、同11.0%減）

ブラジル 1万506トン

（前年同月比59.6%減、同4.2倍）

2022年1月の1トン当たりの輸入価格は、3万8369円（前年同月比54.1%高、前月比0.6%安）と、前年同月を大幅に上回った。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 3万8860円

（前年同月比53.4%高、前月並み）

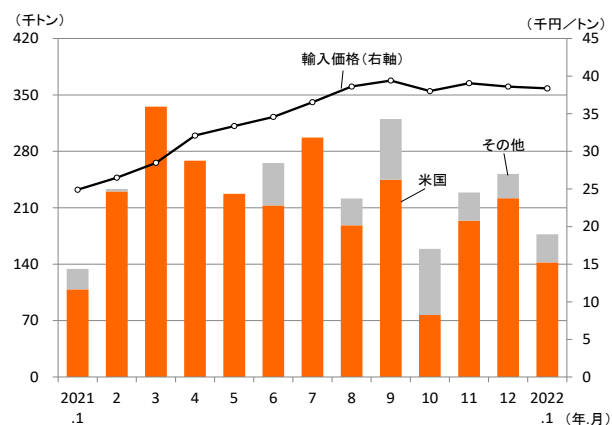
南アフリカ 3万7578円

（前年同月輸入実績なし、前月比1.6%高）

ブラジル 3万3556円

（前年同月比45.6%高、同0.9%高）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1005.90-091